

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2273
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	墓園・墓地整備事業		事業期間	平成28年度～令和3年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民の墓所需要に応じて、新たな墓所を供給するため、高松市墓地整備計画（平成29年度～33年度）に基づき、市営墓地の無縁墳墓の移転改葬、新規墓所整備及び墓地の環境整備を行う。平和公園墓園・六ツ目公園墓園等、新規区画の造成が可能な市営墓地の整備についても計画的に推進する。		
2年度概要	市営墓地の適正な環境整備に努めるとともに、墓所の返還があった場合は、新たに貸出できるよう整備する。また、前年度からの繰越事業である、平和公園墓園内屋外トイレ改築工事及び楠川墓地ブロック塀撤去改修工事を実施する。なお、令和2年度においては、墓所需要を満たしているため、新規区画の整備は実施しない。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の墓所需要に応じた墓所の新規整備と、適正な墓地環境の整備

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
新規墓所整備数（累計）	区画	1,208	1,208	1,208	1,208	1,208

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	新規墓所使用許可数（累計）	区画	目標値	1,152	1,175	1,275	1,355	1,355
			実績値	1,075	1,167	1,252		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 姥ヶ池東墓地と平和公園墓園の新規区画造成工事が平成28年度竣工し、貸出を開始し、元年度における墓所の使用許可数は85区画である。 (目標達成度)							
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	30,356	93,850	126,103	21,198
（事業費）	[円]	15,941	79,482	110,927	6,022
（職員人件費）	[円]	14,415	14,368	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成31年度の墓所貸出数は、85区画であり、平成28年度に策定した墓地整備計画の墓所必要数を大幅に下回っているため、新規区画の開発については、墓所必要数の分析を適正に行い、検討していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成30年度から整備した返還墓所を貸出すことで、現在の墓所需要を満たしているため、今後においては、社会情勢の変化を考慮したうえで、墓地需要の分析を適正に行い、墓地整備計画を検討していく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-822-1917
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	市民葬儀事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民葬儀は、葬儀に要する経済的負担の軽減を図り、広く市民が利用することのできる葬儀制度として実施している。この制度では、市が葬儀の種類及び料金を定めて市民葬儀取扱指定業者に取り扱わせ、火葬料及び市斎場の式場使用料（一定時間）の免除を行っている。				
2年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場等運営懇談会の開催 ・火葬料及び市斎場の式場使用料（一定時間）の免除 				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


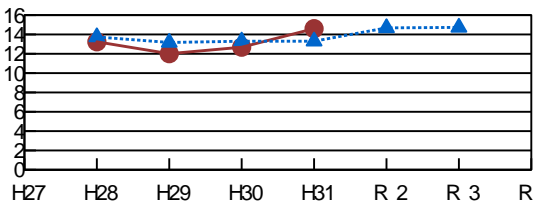
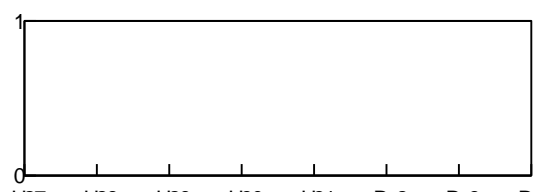
【事業の目的】

対象（何を）	葬儀を行う市民
意図（どのような状態にしたいか）	経済的負担の少ない簡素な葬儀を普及させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
市民葬儀利用件数	件	501	546	629	641	665

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
市民葬儀利用率	%	目標値	13.17	13.3	13.3	14.68	14.83
		実績値	12.01	12.68	14.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） HPやパンフレット配布による市民葬儀事業のPRに努め、目標値である13.3%を超える14.6%を達成し、目標値の引き上げが可能となった。 （目標達成度） 							（達成度） 109.8% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	14,796	15,834	17,979	3,109
（事業費）	[円]	11,002	12,053	14,185	74
（職員人件費）	[円]	3,794	3,781	3,794	3,035

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ホームページ及びパンフレット等により、低価格で葬儀内容も充実した市民葬儀制度の周知に努め、令和元年度は利用件数が前年度より83件増加した。また、近年、葬儀を取り巻く社会情勢が大きく変化しており、今後の制度の在り方を検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和2年度より霊柩車等運行助成を廃止することとしたが、今後の社会情勢の変化等の把握に努めるとともに、他都市の実施状況等を踏まえ、今後の制度の在り方を検討する。